

PAL(ぱる)通信

Vol.2



PALの課題や家庭での実践についてご紹介します！

課題設定のポイント

子どもの興味・関心や発達段階に合った課題設定

アセスメントや個別支援計画をもとに、子どもの発達段階にあったものや、子どもが好きなキャラクターや関心があるものを、課題に取り入れています。

自分でやり方がわかって取り組める

実物、絵、写真、文字といった【見てわかる形】を使うことで、子どもが自分で何をしたらよいかわかるようにしています。

達成感や自信が持てるようにする

子どもが達成感を持ち、自信につながることを目標に、『あと少しでできそうなこと』『いま子どもが取り組もうという意欲があること』を課題に取り入れています。

PDCAサイクルの活用

PDCAサイクルとは、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)のことです。PALでは、PDCAサイクルを活用し、Plan(課題の計画や準備)、Do(療育を実行)、Check(療育の評価)、Action(次回に向けて改善)を行っています。また、療育中の子どもの様子や感想、保護者の皆様のご意見も参考にしております。

発達段階にあわせた 課題の一例

年少・年中・年長

トングで物をはこぶ



トングで綿のボールを挟んで、枠の中に入れる。

ボタンをとめる



ボタンを穴から通してとめると、いちごが完成する。

洗濯バサミで紙をはさむ



洗濯ばさみをとめると、ライオンのたてがみが完成する。

はさみとのりの課題



車を1台ずつはさみで一回切りをし、のりで道路に貼る。

お家で実践

『くつをそろえてならべる』
足形のうえに合わせて、くつを置く。

『おもちゃを箱に入れて運ぶ』
おもちゃを箱の中に片付ける。
箱を所定の位置に運ぶ。

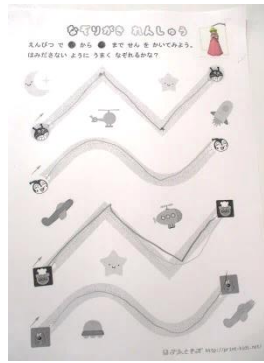
小学校低学年

箸を正しく持って、使う。



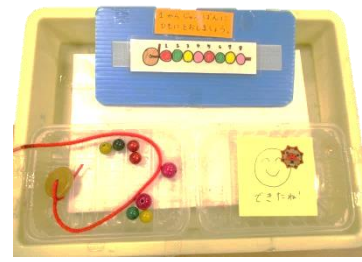
箸を正しく持ち、綿のボールを箸でつまんで、同じ色のところまで運ぶ。

点つなぎ



鉛筆を正しく持ち、点と点をつなぐ。

ひも通し



完成図と同じ順番で、玉をひもに通す。

袋詰め



袋のファスナーを開けて、袋に書かれた品物を入れ、ファスナーを閉める。

お家で実践

『自分の荷物を決まった場所に片付ける』 自分の持ち物を、写真や文字などで示された場所に置いて整理する。
『食事の配膳のお手伝い』 料理をお盆に乗せて、食卓まで慎重に運ぶ。

小学校高学年

お金の理解



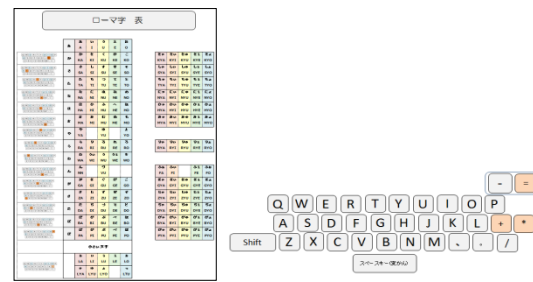
お金の名前を理解する。電卓を使って、お金の計算をする。

靴のひもを結ぶ



靴で練習をする前に、靴型の模型で練習をする。

パソコン入力



ローマ字表を見てタイピングをしたり、マウス操作の練習をする。

手順書を見ながら組み立てる



完成写真や手順書を自分で確認をし、複雑な形の組み立てをする。

お家で実践

『鏡を見て身だしなみを整える』 自分で鏡を見て、服装や髪型を確認し、身だしなみを整える。
『持ち物の管理』 学校の時間割に合わせたり、旅行の荷物を用意したりする。
『料理・洗濯・掃除のお手伝い』 簡単な機械の操作や道具の使い方を理解する。

課題作成の参考図書 紹介

PALでご覧いただけますのでスタッフにお声掛けください。



『はじめてみよう て・ゆびの療育』 ミネルヴァ書房



『見える形でわかりやすく TEACCHにおける視覚的構造化と自立課題』 エンパワメント研究所



DVD資料 『親と教師のための 自閉症の子どもの自立課題』



『お家でも簡単に作れる！ 子どもの才能を伸ばす モンテッソーリ教具100』 三笠書房

その他

学校では教えてくれない大切なことシリーズ 『ルールとマナー』 『ネットのルール』 旺文社

『発達障害の子のライフスキル・トレーニング』 講談社